

鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二二五号

2021.4.20

責任者
市川 麻美

令和三年度が スタートしました

四月五日、二十五名の新入生と新たに着任した教職員を迎え、真鶴中学校の令和三年度がスタートしました。

子どもたちが安全な環境の元、「安心」して「明るく元気に楽しく」学習できるよう、今年度も全職員で取り組んで参ります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「多様性」を



「素直に」受け入れ、今年度から続く新型コロナウイルス問題のようなかような状況の中でも、常に前に進んでいける「逞しさ」をもって

突き進んでいきたいと思います。

今年度も感染症対策をしっかりと行いながらの学校生活となります。

昨年年度の経験を生かし、できることを確実に、行うと同時に、新しい方法をさらに生み出していけると良いと思います。

真中生なら、きつとできると思っております。



信じています。

新入生誓いの言葉

暖かな春の訪れと共に、真鶴中学校に入学しました。入学にあたって、不安なことが二つあります。

一つめは、これからどんな生活が待っているのか、まだつかめていないところがあります。

二つめは、部活動が始まることで、小学校のクラブ活動とは違い、

毎日行う部活動は楽しみが半分、不安が半分です。

ただ、楽しみなこともあります。素敵な先輩や優しい先生方がたくさんいらっしゃると思います。そんな方々と一緒に学べるのが楽しみです。今の不安な気持ちも、すぐに安心できるようにしたいと思います。

何事にも全力で取り組み、仲間と助け合いながら、これからの学校生活を頑張っていきます。

新入生代表



生徒会長から新入生への メッセージ ～対面式にて～

二、三年生の学校生活について紹介します。

二年生は協力することを大切にしています。学習面では、授業中お互いに教えあうことを大切にしています。定期テスト前には、

家庭学習の時間を掲示し、励まし合いながら共に高め合えたいと思います。「小さな気配り、大きな優しさ」というスローガンの元、困っている仲間にもさりげなく声をかけ、助け合える学年となりました。

三年生は、自分と仲間を大切にすることを大切にしたいです。どんなに小さな事でもいいから常に「夢」を持ち続け自分と違う意見も否定せず尊重するということを意識して生活しました。

わからないことは、何でも聞いてください。

生徒会長

新年度に向けて 生徒の決意

二年生になり、初めて後輩ができました。一年生の頃は、二、三年生に引張ってもらっていました。今の三年生の先輩は、悩み事を話すと、優しくアドバイスをしてくれたり、一緒に解決策を考えたりしてくれました。そのおかげでたくさんの場面を乗り越えることができましたと思います。これからは、一年生を引張り、三年生を支えて、後輩に優しく接することができるとな二年生になりたいです。

二年

**新年度に向けて
生徒代表の言葉**
～始業式にて～

私は、中学校で最上級生である三年生になります。二年生の時は、確かな目標を立てないまま、あっという間に過ぎ去ってしまいました。ですから三年生では、三つの目標を立てて生活していきたいと思っています。

一つめは、人間関係です。新しいクラス、新しい先輩、もちろん二年生やすべての先生方とよりよい関係を築き、周りの人から頼られる人間になりたいと思います。

二つめは、学習です。昨年の定期テストでは、なかなか思うような結果が出せず、目標達成できないことに悩んでいました。毎日の地道な学習の積み重ねが大切だということがわかりました。これからは目標点を超えられるように日々の授業を大切にしていきたいと思っています。

三つめは、学校行事です。行事の中で私がとくに頑張りたいと思っているのは、運動会と卒業式です。運動会では、まだ中学校の運動会を経験したことのない一、二年生を私たち三年生がしっかりとひ

つぱって、みんなで力を合わせてよりよい運動会にしたいと思っています。

私は、昨年度、学年委員として卒業式に参加したのですが、三年生の入退場の姿、呼びかけや歌、どれも予行練習よりもものすごい迫力があり、とても感動しました。私たちも人を感動させられる三年生になりたいと思いました。

今年度は、一日一日を大切に、三年間の集大成である卒業式を最高のものとし、一、二年生に見えないバトンをつなげるように頑張ります。



三年

**メール配信システム
に関するお願い**

本校では一斉連絡・情報共有のためのメール配信システムを活用しています。四月七日付文書にてお知らせしましたように、必要な情報が、いち早く各ご家庭に伝わるよう、メール配信システム(マチコミメール)に生徒氏名を登録していただくことをお願いしています。

これに伴い、今年度より、学級連絡網は作成しないことといたしました。趣旨をご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

着任職員からのひとこと

4月から過ごしていく中で、真鶴町はとても温かく人にやさしい町だなと強く感じています。そんな温かい真鶴町の真鶴中学校で教員一年目を始めることができ、とても嬉しく思います。一年間よろしくお願いたします。
音楽科 杉山 七海

着任して間もないですが、アットホームな空気が真鶴が好きになりました。真鶴中での出会いを大切に、子どもたちが笑顔で生活できるように心と体の面からサポートしていきます。どうぞよろしくお願いたします。
養護教諭 高橋 和佳

大学を卒業し、真鶴中学校に来ました。教員一年目で分からないことばかりですが、一生懸命頑張りたいと思います。
英語科 田野原 拓巳

ここに来て、素直で温かい生徒のみなさんに出会えて、毎日楽しいです。これからも真鶴の魅力をたくさん知りたいと思います。よろしくお願いたします。
国語科 杉崎 美穂

朝のさわやかな挨拶、授業中の真剣なまなざし、グラウンドに広がる歓声、放課後に響く部活動の音…生き生きと過ごすみなさんに元気をもらっています。港の釣り船に興味があります。詳しい方、こっそり教えてください。
教頭 島田 健一郎